

働くお父さんの職場を見学

京葉ガス「子ども参観」を開催

京葉ガスは8月20日、本社（市川市）に隣接の防災供給センターで社員の子どもの対象に、業務の説明や施設の見学会を行いました。

当社は、社員の子どもの親の仕事について理解を深めてもらおうと「子ども参観」を実施しました。3回目となる今回も、夏休み期間を利用し、保育園児1人、小学生3人の計4人が参加しました。

子ども参観は、親と一緒に通勤を体験するところからスタートし、本社に隣接の防災供給センターで12時まで行いました。

同センターの駐車場で、ガス漏れなどの出動の際に使用する緊急車両を公開し、ガス漏れ検知器など車載の計器や工具類について説明しました。子どもたちは車両の助手席で、移動無線を模擬交信しながら敷地内の走行に同乗しました。

その後同センターへ戻り、24時間体制でガス漏れなどの受付・出動指令を行う「保安指令室」の見学のほか、ガス管の図面を管理するパソコンの操作を体験。「供給指令室」では、遠隔で都市ガスの供給を制御・監視するシステムや地震が起きた際の対応について学びました。最後に親の職場で仕事の手伝いした後、社員食堂で一緒に昼食をとりながら楽しいひと時を過ごしました。

参加者からは「会社で働くお父さんは格好良かった」「お父さんの仕事は大変だと思った」「無線体験が楽しかった」などと感想が寄せられました。



▲緊急車両に乗って無線の模擬交信。「現場到着です、どうぞ」



▲事務所で父親の仕事をお手伝い

